

平成 30 年度 小松市立安宅中学校「新たな取組」2018

重点項目	確かな学力の育成
目的	1. 授業力向上（＝教師の意識改革）→授業で学力 UP 2. 3つの力の向上(1)英語力(2)発信力(3)読解力
目標 (具体的なゴールイメージ)	<目に見える成果目標の設定> 1. 市 average+10(テン) 2. スリーパワーUP (1)英語力→英検受験者 80%以上、英検 3 級合格 50%以上 (2)発信力→英語スピーチ(ALT との連携)、意見発表会の充実(アナウンサーとの連携)→全国大会出場 (3)読解力(読書量 UP)→全校、年 10,000 冊への挑戦(一人 1 月 4 冊)
手 立 て 取 組 達成のための 手立て・工夫	1. プラス・テンの取組 (1)授業づくり ・国府中学校との中中連携による授業力向上（刺激から意識・行動改革へ） →指導案検討、模擬授業、授業交流、合同教科部会、合同研修・研究会、公開授業・発表等 ・校内研修会→年 4 回(6 月、7 月、11 月、2 月)の外部講師招聘 中京大学：杉江教授 ・普段使いできる学力向上ロードマップの作成・活用 ・「個人で考える活動」の場面、「振り返る活動」の場面→「書く活動」の導入（共通事項） ・授業交流（校内及び小中連携）学期に 1 回 *授業参観シートの有効活用 ・小中連携による共通重点目標の設定と授業づくり(安宅スタイル) (2)ミドルリーダーによる若手育成校内研修(年 6 回) 指導主事要請、ベテラン教師による教授等 (3)土曜塾(年 10 回)*地域・高校との連携 2. スリーパワーUP の取組 (1)英語力 ALT との会話を楽しむ、英語スピーチの開催、英検取得講座の開催 (2)発信力 ①意見発表会の開催 ②安中サミットの開催(学期 1 回、テーマ「学力向上」) ③全校集会(毎月)「心のテーマ」スピーチ ④学級会活動(1)の充実→「議題」による話し合い活動 (3)読解力(＝読書量 UP＝読書活動の充実) ①朝読書(1・2 年毎朝)、教師によるブックトーク(毎週木曜) ②「私の一冊」紹介→全校集会 ③ビブリオバトルの開催(校内・市大会:2 連覇) ④読書講演会の開催